

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、13～20℃台を示し、平年並みでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の30%（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり17トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり1kgの水揚げで、前週の14%（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり25kgの水揚げ（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり30kgの水揚げで、前週の1.2倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり4kgの水揚げ（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、マルソウダなどが1日1統当たり1.2トンの水揚げ。対馬西岸地区では、メジナなどが1日1統当たり11kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ブリなどが1日1統当たり434kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ブリが1日当たり48kgの水揚げで前週並み（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（12/26～12/28の3日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、切揚及び能登半島西沖～佐渡沖で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、酒田沖で操業船あり。鳥取県西部（沖合船）は、入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第5-28号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>

次回の漁海況週報は、令和6年1月12日（金）の発行になります。